

市民の皆様の声

声を市政に

◆一般質問に18人登壇◆

一般質問は、議員に与えられた発言の場で市政について質問をすることが出来ます。
この一般質問のページは質問者が自ら執筆した原稿を掲載したものです。
限られた字数のため、詳細については本庁・支所にある市政情報コーナーや図書館・公民館に備えつけの会議録や市議会ホームページをご覧ください。

エルミ鴻巣の経営は 後期高齢者医療の実態は

子博野菅



ほくにもやらせて！上手でしょ！

問 エルミ鴻巣の1億8000万円の国と市の無利子貸付金を返済する経営見通しは。

答 5年間は据え置き、その後15年間、毎年1200万円返済します。三菱商事都市開発からは毎年状況報告と収

支計画書が出され、25年間の資金計画が作られるが、守秘義務により公表しません。

問 後期高齢者医療制度は廃止すべきである。市民の声や保険料、診療料導入病院、人間ドックなどの施策を問う。

答 保険証の文字が小さい等、声は広域連合に要望しました。診療料導入病院は1院のみで、人間ドックは施策化しません。

問 「病児保育の実施」を。
答 施設の整備等で開設は難しく、病後児保育は、平成21年に検討して行きます。

鴻巣市のリサイクルの状況は

司恵本野



集団回収事業

問 リサイクルの現状と助成金の計算は。

答 本市のゴミの収集総量は3万8659トンで、うち資源物として収集された新聞・雑誌・雑古紙・ダンボール・ビン・缶・ペットボトルおよ

び容器包装類の総収集量は9467トンであり、資源化率は24パーセントです。

集団回収事業については、あらかじめ市に登録されたPTAや地域のボランティア・子ども会・スポーツ団体などの方々が自主的に資源回収を実施していただき、それに対し報奨金をお支払いいたします。実施団体へは回収重量キ口当たり3円で、回収業者へは雑誌・布・空き瓶・スチール缶についてのみキ口当たり2円です。

駅東口駐車場の運営と改善は 茜通りに信号を

晃本坂



鴻巣駅東口駐車場

問 駅東口駐車場の運営状況を、お聞かせください。

答 1日平均1800台、3月末までの累計は29万台、平日定期は30件、19年度の収入は、3759万円です。開業当初は利用者から苦情等があ

りましたが、案内板表示や、安全対策を強化したことにより、それらは減少しています。
問 改善案を検討していくとあるが、どのような対策を考えているのですか。

答 1日単位の上限料金を設定するような長時間利用や、平日定期利用者の土曜日の利用など、全体の収容能力を勘案し改善していきます。

この他に新幹線側道と、茜通りの交差点に信号機を設置するように質問しました。

道路管理システム事業の 早期再開を

岡崎 清敏



再開が待たれる
道路管理システム

問 事業の休止状態が5年目になるが、大事な事業と思われるので、予算・規模を縮小しても再開すべきと思うが。

答 道路管理システムは、道路の維持管理の円滑化が図られ、境界証明、建築確認などが迅速となり、現地立ち会い

を省略できる」など多くのメリットがあり、市民サービスの向上につながります。合併により管理区域が拡大し、道路幅員などの照会や、境界確認申請件数も多くなってきたことから、早い時期での道路管理システム整備事業の再開が必要であると考えています。しかしながら、今日の自治体を取り巻く財政状況は非常に厳しいものがあり、大型事業の進捗状況を見極めながら決めていきたいと思えます。

通学路の安全は 校舎建物の耐震は

長嶋 貞造



大雨で冠水した通学路

問 子どもの通学路の安全は、家庭と地域の皆さんの温かい目と心で守るものです。最近、登下校時の悲しい事故がたくさん発生しています。通学路の交通事情の悪化や社会不安から危険が増加しているが、対応は。

答 通学路には、通学距離や自動車交通量・防犯等の状況を考慮し、学校・地域・PTA等の意見をもとに児童生徒の安全性に必要があるときは、通学路の変更・改善を行います。

問 学校の施設には、児童生徒の良好な教育環境が必要です。災害時には地域住民の避難場所として重要拠点であることから、耐震化は。

答 鴻巣市に耐震性で危険とされる校舎は4棟あり、早期の耐震化を検討しています。

自転車の安全利用は 入札制度改革の取組みは

金澤 孝太郎

自転車安全利用五則

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
 - ★飲酒運転（二人乗り）並進の禁止
 - ★夜間はライトを点灯
 - ★交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 5 子どもはヘルメットを着用

知っていますか？正しいルールを知り、安全に自転車を利用しましょう。

問 道路交通法改正による自転車の利用ルールの徹底は。

答 本年6月より自転車の歩道通行、児童や幼児への乗車用ヘルメットの着用など、自転車利用に対するルールがより厳格化されました。交通事

故防止のため、学校関係や高齢者に交通安全教育や啓発の推進を市内全域で図ります。

問 入札制度改革で電子入札制度の取組み、市発注事業と市内業者の育成について問う。

答 電子入札は平成20年度から全ての工事案件で実施します。一般・指名競争入札においては、応札基準を設けて、市内業者を優先した枠の設定など業者育成に努めます。

他に、埼玉新都市交通（二ユーシヤトル）を将来本市まで延伸する質問をしました。

障害者就労支援センターの 早期設置を

潮田 幸子



一人ひとりの
適性にあった職場を！

問 障害者就労支援センター設置についての市の考えは。

答 仕事を持つという事は、社会的・経済的に自立するための重要な条件です。障がい者の適性に合わせた働く場の確保、一般就労への移行支援、

就労について相談できる体制の整備など、障害者就労支援センターは大変に重要と考えております。既に設置されている他市の状況等を参考にし、国や県の指導を受けながら十分な調査研究をしてまいります。

その他の質問

乳幼児健診における対象外兄弟の一時保育について
子宮頸がんHPV検査導入
高齢者の聴覚検診による認知症予防について
鴻巣のイメージアップ推進

特色あるまちづくり ブランド品開発を

大塚佳之



こうのす市のイメージアップを

問 杜の都といえは仙台市、コシヒカリのふるさとと言えは魚沼地方等、その地域を限定、あるいは想像させる特色を持ったまちがたくさんあります。「ひな人形と花のまち」がキャッチフレーズの本市に

おいて、インパクトのあるブランド品開発が必要と考えますが、今後の施策は。
答 3商工会の中で、特に鴻巣市商工会では、平成7年度から5回にわたり特産品品評会やアイデア料理コンテストを実施しています。数点が商品化され今後期待する所ですが、全国規模で知名度を有するには、さらなる工夫やアイデアが必要と思われる。鴻巣市のイメージアップを期する為にも、商品開発の支援研究を重ねていきます。

耕作放棄地の活用と 地産地消の拡大は

町田信隆



ここのとりの伝説米を
ブランド化しよう

問 農業政策で、耕作放棄地の活用と地産地消の拡大についての具体的な取組みは。
答 耕作放棄地対策として、地権者を調査し今後の意思確認を行い、更に農業委員による農地パトロール強化と早期

発見に努めています。意欲ある農業者や新規就農者への斡旋推進で活用を図っています。農業情報として生産履歴や記帳管理など市も支援していきます。今後は「ここのとりの伝説米」をブランド化し品質の良さをアピールし、地産地消の拡大を図ります。
問 駅前広場の花いっぱい運動で高校総体を迎えたいが。
答 吹上駅南口広場を中心に「ふきあげ花のコミュニケーションづくりの会」が発足し、協働による運動を展開します。

総合病院の誘致は 校舎等耐震化計画の圧縮を

中野昭



第2次耐震診断結果が
待たれる大芦小学校

問 第五次埼玉県地域保健医療計画が本年4月からスタートしました。この計画に基づく本市における二次救急医療を柱とした総合病院の誘致について。
答 県は医療圏域の分割の時

期について平成22年4月を目途に、基準病床数や圏域別計画については現在、未定のことです。
問 現在、小中学校の校舎や体育館の33棟が耐震化未整備となっています。計画では整備完了が平成27年度となっていますが、この計画を圧縮できないか。
答 耐震化計画の整備期間については、国庫補助金や合併特例債等を活用し、圧縮を図れるよう関係部署と連携を取りながら検討していきます。

自転車事故対策は カラー舗装で通行区分を

斎藤忠司



吹上駅前の放置自転車

問 ガソリンの高騰や高齢者の増加などで、自転車利用者は増えてきます。歩道を安心して歩けるよう自転車と歩行者の共用道路では、自転車の走行位置を色分けしては。
答 三谷橋大間線や工業団地

通線の新設道路について、色分けの検討をしてみます。
問 駅前周辺には通勤、通学、買物客によって多くの自転車が放置されています。駅前整備に合わせて対策を。
答 駅前整備の完成に合わせて監視員を置き、放置自転車をなくしていきます。
問 ガソリン価格の高騰で、車で通勤している職員の自己負担が増えている。通勤手当の見直しは。
答 他市等の動向を見て対応していきます。

校舎の耐震診断計画と耐震補強工事は

船田 敏子



耐震補強工事前の箕田小学校教室

問 安心、安全な学校施設の耐震化を進めることは、国や自治体の責務です。本年度の耐震診断計画と今後の計画は。

答 小中学校27校のうち、昭和56年以前建てられた施設は小学校校舎25棟、体育館15棟、

中学校校舎14棟、体育館4棟の58棟で旧耐震基準の対象施設となつていきます。18年度までに全ての施設で第一次診断調査は完了し、二次診断を年次計画で実施して設計、工事を行なつていきます。平成20年度の調査は、吹上小校舎、大芦小校舎と体育館、鴻中校舎の4施設。設計は、田間宮小校舎、松原小校舎、吹上中校舎の3施設。耐震補強工事が箕田小校舎、北小校舎の2施設を予定しています。平成27年度にはすべて完了予定です。

エルミこうのす駐車場の改善を

竹田 悦子



改善が必要と認めた手すり

問 25億6000万円かけて作った駐車場ですから、もっと利用しやすくしてほしいとの声が多く寄せられています。何階の何処に停めたのかわかるように表示を増やすこと。

答 停めた階数がわかるよう

に色を階毎に変えてあります。階数標示も増やしました。

問 特に商店が閉まってから駅への通路がわかりにくいので改善すること。

答 既に案内板が3箇所あるので、これ以上標示物を増やす考えはありません。

問 手すりを持ちやすい位置に改善すること。

答 立体駐車場から、商業棟3階につながる通路部分の手摺りは多少高い位置についていますので、改善が可能かどうか調査を依頼しました。

特色ある農業を就労支援センターの設置を

中島 清



コスモス共同作業所で作業に励む障がい者

問 地球温暖化を先取りし、県は南国産果実（特にマンゴ―）を県の特産物にしようとする研究を始めた。本市でも梨、ブドウ、花きハウス栽培農家等と協議する考えは。

答 気候や土壌の栽培環境、

採算性も含め県との連携を図り梨、ブドウ、花き生産者等や花組合に対しても積極的に情報を提供し、その可能性について協議してまいります。

問 コスモス共同作業所は設立2年であるがすでに5人の障がい者を一般就労に送り出しています。あしたば第一、第二、吹上太陽の家各作業所から過去一般就労へ何人移行したか伺いたい。

答 あしたばで3人ですが中途退職、その後はおりません。太陽の家は1人もいません。

笠原方面のフラワー号新規路線は

星名 悟



期待されるフラワー号

問 笠原コース新設案（12km約22分）鴻巣駅～総合福祉センター～フラワーセンター～笠原公民館～上谷総合公園折り返しは、八幡田地域を通りません。現在走っている福

祉送迎バスは八幡田地域を通り済生会病院を経由していません。コース決定には福祉送迎バスの見直し等も関連があると思います。地元企業者の育成の考えと、コースの最終決定は何月を予定しているのか。

答 見直し計画案に対しての基本的な見直し決定は7月末を予定し、コース最終決定は21年1月になります。地元企業者の育成に関しましては、運行事業者選定委員会の中でプロポーザル方式を採用して決めていきたいと考えます。

吹上中の新校舎建設は まず旧校舎を壊すこと

阿部 慎也



解体を待つ吹上中普通教室棟

問 吹上中の普通教室棟は耐震性が極めて低いことが判明したことにより、生徒の安全を確保するため平成19年5月から仮設校舎で授業を行っています。しかしその危険構造物は今なお生徒のそばで不気味な姿をさらしています。早期解体を望むが、その時期は

答 現在使用中のプレハブ校舎は5年を経過しますと、国庫補助金の算定上、普通校舎として算定する取扱いになります。そのためリース期間を4年8ヶ月と設定したものです。また解体工事及び改築工事等を含めて、より有利な補助金を活用して、完成までに3年間を想定していることから、逆算して平成21年1月から解体工事に着手できるように全力で頑張ります。

土地利用規制の方針は

加藤 正二



計画的土地利用の推進を

問 地方分権改革推進委員会が、都市計画、農地、森林の土地利用規制に関する国の権限を都道府県に全面移譲する方針を固めたことを問う。

答 農地の土地利用規制については、農地の土地利用については、農地転用許可制度と農業振興地域制度の2項目を重点事項としております。農地転用許可制度では、農地は優良農地の確保と計画的土地利用の推進を図るため、農地転用許可制度が採られ、周辺農地の営農の支障となる転用や、具体的な転用目的を有しない投機目的、資産保有目的での農地の取得は認めない。現在4ヘクタールを超える農地転用の許可は国が行い、4ヘクタール以下の農地転用の許可は、都道府県が行います。

議会日誌

4月	3日 足立北部正副議長会定期総会
	4日 埼玉県市議会第5区議長会総会
	16日 議会だより編集委員会
	18日 埼玉県市議会議長会定期総会
	21日 公明党行政視察研修
	23日 伊奈町日本共産党議員団行政視察研修来庁
	24日 関東市議会議長会定期総会
5月	12日 公明党行政視察研修
	17日 荒川北緑水防事務組合議会水防演習視察
	22日 埼玉中部環境保全組合議会定例会
	28日 全国市議会議長会定期総会
	” 埼玉県央広域事務組合議会臨時会
6月	3日 議会運営委員会
	5日 代表者会議
	” 全員協議会
	6日 議会だより編集委員会
	12日 代表者会議
	13日 議会運営委員会
	26日 全員協議会
	27日 公明党行政視察研修
	30日 埼玉県市議会第5区議長会役員会
6月定例会	5日 6月定例会（開会）
	10日 本会議
	13・16・17・18日 本会議（一般質問）
	19日 文教福祉・まちづくり常任委員会
	20日 政策総務・市民環境常任委員会
	26日 本会議（閉会）

農道・用排水路の条件整備を

小暮 一



整備が待たれる農道

問 農道の舗装整備や用排水路の整備状況は。

答 農道の舗装整備につきましては、国・県等の補助を受けて、単独費で負担しており、現在、舗装の修繕や砂利敷き等を行うとともに、農道の維持管理をしながら農道の維持管理を行っています。用排水路につきましては、地元からの要望により県費単独事業や、市単独事業、或いは市からの材料支給による地元での協力等で改修しています。

問 本年度の維持管理のための原材料費の総枠の予算は。

答 平成20年4月1日現在の用排水整備状況では2割強が土水路であり、今後改修が必要な箇所と考えています。

問 本年度の維持管理のための原材料費の総枠の予算は。

答 1450万円です。